

令和元年度 公益財団法人旭川市体育協会事業報告

これまでの経過及び事業概要について

旭川市体育協会は、昭和60年4月に民間の協力を得て効率的な運営を目指すとともに、財政基盤の確立を図る必要性から財団法人化して、市民のスポーツ振興に加盟団体と密接に連携しながら取り組んできたところです。また、平成18年度からは旭川市総合体育館の指定管理者として効率的な管理運営とサービスの向上を目指すとともに、スポーツ活動の拠点施設の管理運営を通じて市民の健康・体力づくりに貢献してまいりました。

このような中、平成20年12月に公益法人制度改革三法が施行され、当協会は公益財団法人への移行を選択し、平成24年12月12日の北海道公益認定等審議会の答申を経て、平成25年3月21日に北海道知事から公益財団法人として認定され、平成25年4月1日から公益財団法人旭川市体育協会として新たなスタートを切りました。

また、令和元年度には旭川市総合体育館の指定管理者に再度選定され、旭川市におけるスポーツ振興の更なる充実・発展を目指し、総合体育館を拠点として市内のスポーツ団体を統括するとともに、スポーツ振興のために必要な事業を行うなど、市民の体力向上とスポーツの普及・推進に向けて、各種事業を次のとおり実施いたしました。

I 公益目的事業

1 スポーツの普及・振興を図る事業

(1) スポーツ大会開催事業

① 第40回バーサーロペット・ジャパンの開催

旭川スキー連盟及び当協会が主管団体となり、国内最大規模のクロスカントリースキー大会(歩くスキー含む)を公益財団法人JKA(競輪)の補助を受けて開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大が懸念され、参加者及び関係者の感染を完全に防止するための対応がきわめて困難であることから、安全の確保を最優先し中止となりました。

- ・開催日 令和2年3月7日(土)～3月8日(日)※2月25日開催中止決定
- ・会場 北彩都特設会場及び周辺河川敷特設コース
- ・種目 クロスカントリースキー競技、スーパースプリント競技、歩くスキー、ミニロペット
- ・申込数 2,208人

種目	申込者数	種目と申込者数(人)	会場
クロスカントリー競技	570人	6.8Km(130),17Km(280),51Km(160)	北彩都周辺河川敷特設コース
スーパースプリント競技	34人	小学生(17),中学生(8),一般(9)	同上
歩くスキー	1,299人	4.5Km(963),11Km(336)	同上
ミニロペット	305人	1Km(幼児・小学校3年生以下と引率者305)	北彩都ガーデン内
計	2,208人		

- ・事業概要 バーサーロペット・ジャパン組織委員会の構成団体として、事務局業務全般を担当しました。また、開催中止に伴い関係者への通知、参加申込者への参加料の返金手続き、記念品の配布等も行いました。

市の委託を受けて、バーサーロペット・ジャパンコースの一部を活用し「北彩都歩くスキーコース」として、歩くスキー及びクロスカントリースキーコースを造成・管理するほか、歩くスキーセットを貸し出す「スキーリユース事業」を行い、冬季スポーツの振興と地域の活性化に努めました。

[北彩都歩くスキーコース]

- ・開設期間 令和2年1月13日～3月23日
- ・造成コース 北彩都地区周辺(旭川駅裏折り返し4.5Kmコース)
- ・利用人数 1,281人

[スキーリユース事業]

- ・貸出期間 令和元年12月14日(土)～令和2年2月21日(金)
※バーサーロペット・ジャパン申込者に限り3月19日(木)まで
- ・貸出人数 287人
- ・貸出用具 スキー276本, 靴282足, ポール276本

- ・事業収入 24,544,485円
- 事業支出 24,500,563円

② 2019(第11回)旭川ハーフマラソンの開催

道北陸上競技協会及び当協会が主管団体となり、ハーフマラソン大会を開催しランニング競技の普及と市民の健康増進を目指すとともに、道内外から参加者を誘致し地域の活性化に努めました。

- ・開催日 令和元年9月29日(日)
- ・会場 陸上競技場発着(ハーフマラソンコースは、陸上競技場～国道40号～自衛隊敷地内～旭橋～ロータリー～常磐公園～中央橋通～陸上競技場)
- ・種目 ハーフマラソン・10Km(日本陸連公認コース)・5.3Km・3Km・ファミリーラン
- ・参加者数 4,229人(申込者数4,505人)

種目	陸上連盟登録者	一般	高校生	中学生	小学生	合計人数
ハーフ	55人	2,039人	23人	0人	0人	2,117人
10km	0人	828人	20人	0人	0人	848人
5.3km	0人	332人	21人	84人	0人	437人
3km	0人	0人	0人	0人	213人	213人
ファミリー	0人	303人	9人	14人	288人	614人
合計人数	55人	3,502人	73人	98人	501人	4,229人

- ・事業費 旭川ハーフマラソン実行委員会事業費 27,650,312円

(2) 市民のスポーツイベント開催事業

「旭川市民体育の日」事業

旭川市では昭和55年度から6月及び2月の第3日曜日を「市民体育の日」と制定しており、市民がスポーツに親しむ機会を拡充するため、旭川市の委託を受けて次の事業を実施しました。

① 夏季「市民体育の日」の事業

- ・行事名 スポーツチャレンジ
- ・期日 令和元年6月16日(日)
- ・場所 SPRAYスケートパーク, ASOBI～BA
- ・内容 スケートボード体験会, インドアクライミング体験会
- ・参加者数 41名 (この他, 総合体育館を全館無料開放:利用者192名)
- ・事業費 事業収入 282,520円 事業支出 150,019円

② 冬季「市民体育の日」の事業

- ・行事名 冬のスポーツ体験会
- ・期日 令和2年2月16日(日)
- ・場所 サンタプレゼントパーク
- ・内容 スノーボードレッスン
- ・参加者数 23名 (この他, 総合体育館を全館無料開放:利用者239名)
- ・事業費 事業収入 191,600円 事業支出 125,361円

(3) スポーツに関する講演会の開催事業

- ・行事名 スポーツ講演会
- ・期日 令和2年2月22日(土)
- ・場所 旭川市大雪クリスタルホール
- ・講師 宮城教育大学教授 池田晃一 氏
- ・演題 「全ての力をチームのために～個性を伸ばしてチームづくり～」
- ・参加者数 50名
- ・事業費 事業支出 0円(少年団基金事業・アスリート発掘・養成事業と共催)

(4) スポーツリーダーバンク事業

各種スポーツ・レクリエーション活動及びスポーツ教室の実技指導を行う指導者の登録及び要請に応じた派遣を行いスポーツの普及・振興を図りました。

(令和元年度登録者数:48名, 派遣延べ人数107人(スポーツ教室107人), 派遣可能種目:55種目)

(5) スポーツボランティア育成事業

各種スポーツ大会等の円滑な運営を支援するためスポーツボランティアを登録し、旭川ハーフマラソンやスポーツ団体等の要請に基づきボランティアを派遣し、スポーツ振興に寄与しました。

- ・令和元年度スポーツボランティア登録者数25人、活動実績3回(延べ27人)
- ・事業費 事業支出21,664円

(6) ニュースポーツ用具等の地域貸出事業

市民皆スポーツを目指し館外での活動促進を図るため、地域や団体等へニュースポーツ用具の無料貸出を行いました。

- ・貸出用具名と貸出実績

貸出用具名	貸出件数	貸出日数	保有セット数
4コートバレーボール	5	16	2
バグジー	11	26	2
ディスクゲッター9	9	25	2
キンボール	4	12	1
フロアカーリング	47	82	6
ふまねっと	4	5	2
カーリンコン	7	16	4
クロリティー	6	30	1
ペガーボール	2	9	1
合計	95	221	

(7) AED(自動体外式除細動器)の貸出事業

貸出団体数(7), 貸出件数(7), 貸出日数(25日)〔主な貸出団体=教職員体育大会実行委員会, 旭川市スポーツ課

(8) スポーツ功労者等の表彰事業

① 旭川市体育協会表彰

本市のスポーツ振興に貢献された方を対象として功労表彰(スポーツ功労賞), 功績表彰(スポーツ功績賞), 優秀指導者表彰(スポーツ貢献賞)を, 全国大会等で優秀な成績を収めた選手に優秀選手表彰(ベストプレイヤー賞)を, 日本新記録を樹立した選手に特別表彰(スポーツ特別賞)及び体育協会会長賞を贈呈し, 功績を讃えました。

- ・開催日 令和元年10月14日(月)「体育の日」
- ・会場 アートホテル旭川
- ・授与内容

区分	内容	授与数
スポーツ功労賞	住田隆良氏 外1人	2人
スポーツ功績賞	寺林芳寛氏 外15人	16人
スポーツ貢献賞	松橋貞雄氏 外6人	7人
ベストプレイヤー賞	安藤麻氏 外	2団体, 13人
スポーツ特別賞	北口榛花氏	1人
体育協会会長賞	北口榛花氏	1人
計		2団体, 40人

- ・事業費 事業支出 856,953円

② 各種大会入賞者への会長賞表彰

加盟団体等が開催する各種大会等において優秀な成績を収めた選手に対して, 申請に基づき会長賞(トロフィー又は楯, 賞状)を贈呈し栄誉を讃えました。(申請団体8団体)

〔交付団体〕

申請団体	会長賞の授与内容	大会名	大会期日	会場
1 旭川アーチェリー協会	RC部門Aクラス優勝, RC部門Bクラス優勝	第24回旭川トーナメント大会	5月19日	花咲スポーツ公園洋弓場
2 旭川市ラジオ体操連盟	正しい基本技術の向上と技の発表優秀者	第46回道北地区ラジオ体操コンクール大会	8月18日	旭川市永山住民センター
3 旭川テニス協会	男子の部, 女子の部	2019年度会長杯旭川シングルステニス選手権大会	9月16日	花咲スポーツ公園テニスコート
4 旭川ハーフマラソン実行委員会	ハーフ一般男子優勝, ハーフ一般女子優勝	第11回旭川ハーフマラソン	9月29日	花咲スポーツ公園陸上競技場
5 旭川銃剣道連盟	2段以下の部, 3段以上5段以下の部, 6段以上の部, 50才以上の部の優勝者による争奪戦	第73回旭川市民体育銃剣道大会兼旭川駐屯地司令杯	10月20日	陸上自衛隊旭川駐屯地屋内訓練場
6 旭川卓球協会	男子団体優勝, 女子団体優勝	第35回北海道中学校選抜卓球大会旭川地区予選	11月16日	旭川市リアルター夢りんご体育館
7 旭川レスリング協会	敢闘賞	旭川ライオンズクラブ杯第9回北海道ジュニアレスリング大会	11月16日～17日	旭川市総合防災センター体育館
8 パーサーロケット・ジャパン組織委員会	一般男子17km 第1位 一般女子17km 第1位	第40回パーサーロケット・ジャパン	3月7日	北野都特設会場及び周辺河川敷特設コース

- ・事業費 事業支出33,784円

(9)スポーツ情報の提供事業

○スポーツ大会予定表の作成

旭川市のスポーツ団体が市内及び近隣8町で開催する全国・全道・地区大会の予定表を作成して、ホームページに掲載するとともに、主な市有体育施設に配布して広く市民に情報を提供しました。(掲載大会297大会)

2 スポーツ団体等の育成支援事業

(1)スポーツ少年団育成事業

スポーツ少年団の健全育成を図るため、次のとおり各種大会等を実施しました。

登録団体等 68単位団, 指導者314名, 団員1,198名

区分	事業名	概要
①大会開催事業	第36回武道フェスティバル	・種目 剣道, 空手道, 少林寺拳法, 柔道 ・開催日 R1.5.6 ・会場 旭川市総合体育館 ・参加人数 451名
	第38回日専連旭川杯争奪少年野球大会兼第38回旭川市スポーツ少年団軟式野球交流大会(第40回スタルヒン杯争奪全道スポーツ少年団軟式野球交流大会予選会)	・開催日 R1.5.25~6.9 ・会場 旭川ドリームスタジアム他 ・参加団数 35団(旭川市の部27団, 上川管内の部8団) 540名
	第12回旭川市スポーツ少年団バレーボール交流大会	・開催日 R1.7.20 ・会場 旭川総合体育館 ・参加団数14団(男子2団, 女子12団) 151名
	第40回スタルヒン杯争奪全道スポーツ少年団軟式野球交流大会兼第34回北海道スポーツ少年団軟式野球交流大会(第41回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会北海道予選会)	・開催日 R1.7.13~15 ・会場 旭川ドリームスタジアム他 ・参加団数 16団(市内1,管内1,道内14) 274名
	第25回ななかまど少年剣道大会	・開催日 R1.10.20 ・会場 旭川市総合体育館 ・参加人数 393名(28団)
②講習会等開催事業	体力テスト会と多様な動きづくり	・開催日 R1.10.19 ・会場 旭川市総合体育館 ・参加人数 170名(16団)
	スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会 <上川管内会場>	・開催日 R1.11.16~17 ・会場 旭川市総合体育館 ・参加人数 46名
	親子カーリンコン大会	・開催日 R1.12.15 ・会場 大成市民センター体育館 ・参加人数 92名(4団)
	リーダー養成宿泊研修会	・開催日 R2.1.25~26 ・会場 富沢ふれあいの家 ・参加人数 22名(8団)
③表彰事業	指導功労者表彰	・開催日 R1.8.23 ・場所 ベルクラシック旭川 ・受賞者 3名
	優良団員表彰	・各単位団において表彰 ・受賞者 3団体,38名
④派遣事業	・全国スポーツ少年大会 ・全道スポーツ少年大会 ・全道リーダースクール ・日独スポーツ少年団同時交流 ・全道競技種目別交流大会(野球, バレー, 剣道など) ・上川管内交流大会(野球, バレー, 水泳など)	
⑤普及事業	総合体育館内にパネルを設置し, スポーツ少年団活動の事業等の写真や大会結果を展示し, 活動のPRを行いました。	通年で実施
⑥基金事業	「空手ナショナルチーム講習会」	・開催日 R1.12.21 ・会場 大成市民センター体育館 ・参加者 132名
	指導者と父母の集い 講演テーマ「全ての力をチームのために～個性を伸ばしてチームづくり～」 講師 池田晃一氏(宮城教育大学教授)	・開催日 R2.2.22 ・会場 旭川市大雪クリスタルホール ・参加者 50名

・事業費 事業収入3,661,485円 事業支出4,500,076円

(2) スポーツ団体等の育成支援事業

① 加盟団体等育成事業

ア 加盟団体運営費補助金

加盟団体の育成を図るため、新規加盟から6年間、運営費補助金を交付。

- ・対象団体(令和元年度は該当なし。)・事業費(交付額) 0円

イ 加盟団体等への助成金

加盟団体等の活動を支援するとともに市民スポーツの底辺拡大を目指して、申請に基づいて次の事業に助成金を支給しました。

なお、助成対象は市民(小・中学生含む)を対象としたスポーツ教室、講習会、大会で原則新規の事業とし参加資格を競技団体の登録者に限定する講習会や大会は対象外としました。

助成団体	行事名	会場	開催期日	延参加人員	助成金額
旭川アーチェリー協会	第3回北海道小中学生選手権大会	花咲公園洋弓場	8/11	20人	30,000
旭川地区バドミントン協会	幼児・小学1・2年バドミントン教室	大成市民センター体育館	1/18, 2/1, 2/8	24人	30,000
旭川スキー連盟	クロスカントリー講習会	富沢クロスカントリーコース	1/12~3/1(8回)	215人	30,000

- ・事業費 事業支出111,259円

ウ 利用団体事務室・会議室の運営

平成23年度から開設した利用団体事務室・会議室を有効に活用し、各種利用団体の活動を支援しました。利用団体事務室は令和元年度末現在、サッカー協会、卓球協会、銃剣道連盟、剣道連盟、野球連盟の5団体が利用しています。

- ・利用団体事務室の使用状況~5団体の使用日数976日
- ・利用団体会議室の使用状況~5団体及び他団体の使用回数207回

エ アスリート発掘・養成調査研究業務

市内、小中高生の学校運動部活動やスポーツ少年団の実態を調査し、競技力向上や選手の発掘・養成のあり方について研究し、課題等の解決に向けた協議や事業を実施しました。

- ・スポーツ少年団や学校の運動系活動に関するアンケート調査の実施 8月~11月
- ・指導者のためのジュニアアスリートトレーニング講座の実施 R2年2月9日(日)

- ・事業費 事業支出 128,276円

② 総合型地域スポーツクラブの普及と育成

「総合型地域スポーツクラブ」は、地域住民によって自主的に運営されるクラブで、子供からお年寄りまで誰もがそれぞれの志向やレベルに合わせ、身近な会場で気軽にスポーツに限らず、社会的・文化的な活動も視野に入れており、地域コミュニティの形成につながるものであることから、ホームページでの紹介や活動場所確保の協力など、その普及と育成に努めました。

3 スポーツ推進のための各種教室等の開催及び体育施設の管理運営事業

(1) 旭川市総合体育館の管理運営事業(指定管理事業)

市民のスポーツ活動を推進する拠点施設である旭川市総合体育館の指定管理者として、各種スポーツ教室等を実施するなど、適正な管理運営に努めました。

① スポーツ教室の開催

市民スポーツの振興と普及を図るため、総合体育館(17教室)、大成市民センター体育館(3教室)、忠和テニスコート(1教室)を会場にスポーツ教室を年間21教室開催しました。(各教室の開催回数は8~10回、親子で楽しむテニス教室は5回)

期	教室名	参加料(円)	対象	実施場所	参加者	延参加者	期間
第1期	中高年体力づくり	3,000	中高年(初心者)	第2体育室	38	321	5/13-7/29
	ヨーガ	3,000	一般(初心者)	第3体育室	37	300	5/7-7/9
	少年少女体操	2,400	小学1年~3年生	第2体育室	21	163	5/7-7/2
	母と子の体力づくり	1組2,400	3~5歳児と保護者	第2体育室	中止(申込2組)		5/7-7/2
	ストレッチポール	3,000	一般(初心者)	第4体育室	21	177	5/8-7/10
	ピラティス	3,000	一般(初心者)	第3体育室	33	267	5/8-7/17
	計					150	1,228
第2期	中高年体力づくり	3,000	中高年(初心者)	第2体育室	29	248	8/26-11/25
	エアロビクス	3,000	一般(初心者)	第2体育室	19	146	9/4-11/13
	ヨーガ	3,000	一般(初心者)	第3体育室	36	274	9/3-11/12
	少年少女体操	2,400	小学1年~3年生	第2体育室	32	232	9/3-10/29
	バウンドテニス	2,400	一般(初心者)	アリーナB面	7	46	9/4-10/30
	ピラティス	3,000	一般(初心者)	第3体育室	31	258	9/18-11/27
	計					154	1,204

期	教室名	参加料(円)	対象	実施場所	参加者	延参加者	期間
第3期	ミニバレー	2,400	一般(初・中級者)	第2体育室	16	82	1/7-3/3
	エアロビクス	3,000	一般(初心者)	第2体育室	29	152	1/8-3/18
	ソフトテニス	2,400	一般(初・中級者)	アリーナ全面	22	88	1/22-3/11
	ジュニアテニス	2,400	4歳から小学生	アリーナ全面	41	178	1/22-3/11
	軽スポーツ	3,000	一般(初心者)	第2体育室	26	160	1/9-3/12
	計				134	660	第3期は新型コロナウイルス感染拡大の影響で2/25以降中止
1～3期計					438	3,092	
	親子で楽しむテニス教室	3,000	4歳から小学生, 保護者	忠和テニスコート	54	234	5/12, 5/19, 6/2, 6/9, 6/16
合計(18教室) ※大成会場分(3教室)は別掲					492	3,326	

・事業費 事業収入 1,251,100 円(参加料) 事業支出 1,950,754円

② 健康体力づくり教室等の開催

ア スポーツチャレンジ講座(夏季)

小学生を対象に、体操・卓球・バドミントンの3種目を体験する中で、どのスポーツが自分に適しているのかを知り、スポーツへの興味・関心をより高めることを目的として開催しました。

・開催日 令和元年8月17日(土)

・場所 旭川市総合体育館

・チャレンジ種目:体操・卓球・バドミントン(参加者46人)

・事業費 事業収入4,600円 事業支出45,040円

イ スポーツチャレンジ講座(冬季)

小学生を対象に、中学校で必須となった「ダンス」の楽しさを理解してもらうことを目的に開催しました。

・開催日 令和2年2月16日(日)

・場所 旭川市総合体育館

・チャレンジ種目:ダンス(参加者21人)

・事業費 事業収入2,100円 事業支出6,000円

ウ 一般開放クリニック事業

総合体育館の一般開放利用者等で希望する初心者を対象に、卓球協会・バドミントン協会の協力を得て講習会を実施しました。

実施種目及び期間	卓球(4/17～2/12)	バドミントン(4/17～2/12)	計
実施回数	11回	11回	22回
小中学生参加者人数	50	86	136
高校生参加者人数	0	0	0
一般参加者人数	39	65	104
合計人数	89	151	240
協会アドバイザー延人	23	22	45

(単位:人)

・事業費 事業支出 112,500円※3月は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止

エ 逆上がり講習会

体育の授業だけでは技術を習得できない児童が多い逆上りを、専門講師の指導によりコツを掴むことを目的に講座を実施しました。

・開催日 令和元年10月6日(日)

・場所 旭川市総合体育館

・参加者 28人

・事業費 事業収入2,800円 事業支出18,600円

オ 体協わんぱくまつり

幼児体育室のPRを兼ねて、幼児体育室を利用されている方々等を対象に、ニュースポーツや景品が当たるゲームによる催事を実施し、親子で楽しんでいただきました。

・開催日 令和元年7月7日(日)

・場所 旭川市総合体育館

・参加者 30人

・事業費 事業支出30,449円

カ スポ婚あさひかわ

普段、スポーツをする機会がなく、出会いを求めている男女を対象に、スポーツを介した新たな出会いの場を提供しました。

- ・開催日 令和2年1月19日(日)
 - ・場所 旭川市総合体育館
 - ・参加者 25人(男性13人, 女性12人)
- 事業収入 37,500円 事業支出 47,852円

③ トレーニング相談事業

各種トレーニングの基本を普及するため、トレーニングルームに指導の資格を有する相談員2人を配置し、利用者からの様々な相談やニーズに対応しました。

- ・配置回数 428回 月曜日, 火曜日, 水曜日(10時00分~12時00分, 18時30分~20時30分)
木曜日(10時00分~12時00分)土曜日(16時00分~18時00分)
- ・相談件数 延べ 6,798人
- ・事業費 事業支出2,140,000円

④ 施設の管理運営

ア 総合体育館利用状況

区分	利用件数(件)	利用人員(人)	使用料取扱額(円)	備考
専用使用	大会	128	46,454	開館日数348日 1日平均利用者425人
	大会以外	1,271	26,604	
	計	1,399	73,058	
個人使用		74,983	8,845,260	
合計	1,399	148,041	18,954,460	

イ 利用調整会議

全国・全道大会, 地区大会等の利用申請が重複するため, 当協会が大会開催希望を取りまとめ, 申請団体等と調整会議を開催し, 総合体育館, 大成市民センター体育館, 忠和公園体育館, 東光スポーツ公園武道場の利用調整を行い, 各団体の大会実施実現に向けて可能な限りの調整を行いました。

・令和2年度 利用調整対象大会等件数及び確定状況(利用日程最終決定日 令和2年2月7)

区分	施設名	市主催	国際	全国	全道	地区	合計
対象件数	総合体育館	36	0	2	39	139	216
	① 大成体育館	72	0	0	2	151	225
	忠和体育館	3	0	0	2	20	25
	武道館	3	0	0	3	13	19
	計	114	0	2	46	323	485
調整件数 (変更・取消)	総合体育館	△1	0	0	△2	△15	△18
	② 大成体育館	0	0	0	1	2	3
	忠和体育館	0	0	0	△1	△3	△4
	武道館	0	0	0	1	0	1
	計	△1	0	0	△1	△16	△18
確定件数	総合体育館	35	0	2	37	124	198
	①+② 大成体育館	72	0	0	3	153	228
	忠和体育館	3	0	0	1	17	21
	武道館	3	0	0	4	13	20
	計	113	0	2	45	307	467

ウ 旭川市総合体育館利用者の声を聴く会

利用者の意見・要望を反映させるため開催し, サービス向上に向けた管理運営に努めました。

- ・開催日 令和元年12月17日(火) 出席者8人(加盟団体及び利用団体推薦者)
- ・内容 令和元年度の利用状況を報告するとともに, 利用に関する要望をお聞きし, 意見交換を行いました。

[主な意見等と対応状況]

- 質問 大会準備の物品搬入作業で, 他者に怪我をさせた場合の保険には入っているか。
- 回答 施設管理上に関する保険には旭川市が加入しています。
- 要望 大会時, 駐車場の通路に駐車している車がある。駐車しないようにコーンを置いて欲しい。
- 回答 貸し出しできるものがあるので相談してください。
- 質問 忠和公園体育館ではフットサル大会は実施できないのか。
- 回答 フットサルはできない体育館となっています。
- 質問 東光に新しくできる体育館について進捗状況について教えてほしい。
- 回答 2020年4月に武道館として開館する予定となっています。

エ 北海道教育大学との連携によるスポーツ活動の普及

旭川校の学生の地域教育支援活動を受け入れて、教育活動の場を提供するとともに、体育館の一般開放利用者のサポートやスポーツ少年団活動の講習会等で協力を得ました。

- ・受入期間 平成31年4月19日(金)から令和元年12月15日まで
- ・受入生徒数 1年次学生 11人
- ・関連行事名 旭川ハーフマラソン, 少年団活動(体力テスト会と多様な動きづくり, 親子カーリンコン大会)等の運営サポートとして延31人
- ・事業費 事業支出116,949,007円

(2) 大成市民センター体育館の管理運営事業

スポーツ教室(3教室), ニュースポーツ講習会を実施するなど, 大成市民センター体育館の効果的な管理運営に努めました。

① スポーツ教室の開催

期	教室名	参加料(円)	対象	実施場所	参加者	延参加者	期間
第1期	バドミントン	2,400	一般(初・中級者)	大成体育館	22人	155人	5/8-6/26
第2期	卓球	2,400	一般(初・中級者)	大成体育館	31人	223人	9/4-10/30
第3期	ラージボール卓球	2,400	一般(初・中級者)	大成体育館	32人	190人	1/8-2/26
3教室合計					85人	568人	

- ・事業費 事業収入194,400円(参加料) 事業支出389,245円

② スポーツ講座の開催(新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止)

- ・事業名 大成市民センター体育館スポーツ講座 フォークダンス体験会
- ・開催日時 令和2年3月20日(金) 9時30分～11時30分
- ・会場 大成市民センター体育館

③ ニュースポーツ講習会の開催(新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止)

- ・事業名 ニュースポーツ(ボッチャ)体験会
- ・開催日時 令和2年3月20日(金) 14時30分～15時30分
- ・会場 大成市民センター体育館

④ 施設の管理運営

[大成市民センター体育館利用状況]

区分	利用件数	利用人員(人)	協力金取扱額(円)	備考
専用使用	大会	48	9,373	開館日数348日 1日平均利用者117人
	大会以外	707	20,292	
	計	755	29,665	
個人使用		11,019	3,523,660	
合計	755	40,684	3,523,660	

- ・事業費 事業支出9,374,328円

II 法人管理運営事業

1 職員研修等事業

(1) 研修会等の開催及び参加

① あさひかわ推進法人連絡協議会職員研修会への参加

- ・期日 令和2年1月30日(木) 11人参加(トーヨーホテル)

② 体育協会職員研修の実施

体育協会職員の資質向上を目指し, 定期的に研修を実施しています。

ア 自衛消防訓練

イ 電話対応のあり方について

2 各種会議等の開催状況

(1) 評議員会

会議名	議案	議決年月日	出席人数	開催場所
令和元年度 定時評議員会	議案第1号 報告事項 ・平成30年度事業報告及び収支決算について ・令和元年度収支補正予算について	R元,6,24	評議員6 理事2 監事2	大成市民センター 体育館
令和元年度 臨時評議員会	議案第1号 議案第2号 報告第1号 ・公益財団法人旭川市体育協会定款の一部改正について ・役員の報酬並びに役員及び評議員の費用弁償に関する規程の一部改正について ・加盟団体規程の一部改正について ・評議員選定委員会運営細則の廃止について	R元,12,18	評議員9 理事2 監事2	旭川市総合体育館
令和元年度 臨時評議員会	議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 ・令和2年度事業計画及び収支予算について ・専務理事の報酬及び専務理事に支給する手当の種類について ・給与規程の一部改正について ・スポーツ少年団設置規程の一部改正について	R2,3,26	評議員9 監事2 理事2	旭川市総合体育館

(2) 理事会

会議名	議案	議決年月日	出席人数	開催場所
書面表決	議案第1号	平成31年度収支補正予算について	H31, 4, 15	
令和元年度 第1回理事会	議案第1号 議案第2号 議案第3号	・平成30年度事業報告及び収支決算について ・令和元年度 収支補正予算について ・定時評議員会の招集について	R元, 6, 6	理事8 監事1 旭川市総合体育館
令和元年度 臨時理事会	議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号	・公益財団法人旭川市体育協会定款の一部改正について ・役員報酬並びに役員及び評議員の費用弁償に関する規程の一部改正について ・加盟団体規程の一部改正について ・評議員選定委員会運営細則の廃止について ・評議員会の招集について	R元, 12, 4	理事10 監事1 旭川市総合体育館
令和元年度 第2回理事会	議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号	・令和2年度事業計画及び収支予算について ・専務理事の報酬及び専務理事に支給する手当の種類について ・公益財団法人旭川市体育協会給与規程の一部改正について ・スポーツ少年団設置規程の一部改正について ・臨時評議員会の招集について	R2, 3, 11	理事10 監事2 旭川市総合体育館

(3) 常置委員会

① 総務委員会

会議名	議題	開催年月日	出席人数	開催場所
令和元年度 第1回総務委員会	理事会提出案件について ・平成30年度事業報告及び収支決算について ・令和元年度収支補正予算について ・定時評議員会の招集について 平成30年度 表彰祝賀会事業決算について	R元, 5, 31	委員5	旭川市総合体育館
令和元年度 第2回総務委員会	令和元年度 表彰受賞者の選考について	R元, 9, 17	委員4	旭川市総合体育館
令和元年度 第3回総務委員会	理事会提出案件について ・公益財団法人旭川市体育協会定款の一部改正について ・役員報酬並びに役員及び評議員の費用弁償に関する規程の一部改正について ・加盟団体規程の一部改正について ・評議員選定委員会運営細則の廃止について ・臨時評議員会の招集について	R元, 11, 25	委員4	旭川市総合体育館
令和元年度 第4回総務委員会	理事会提出案件について ・令和2年度事業計画及び収支予算について ・専務理事の報酬及び専務理事に支給する手当の種類について ・公益財団法人旭川市体育協会給与規程の一部改正について ・スポーツ少年団設置規程の一部改正について ・臨時評議員会の招集について	R2, 3, 2	委員4	旭川市総合体育館

Ⅲ その他

1 上川管内体育協会連絡協議会の運営

上川管内の23市町村体育協会で構成する連絡協議会の事務局として、会議(常任理事会、理事会)の開催、功労者表彰(8名)、ブロック活動助成事業(1ブロック)、青少年育成助成事業(3事業)、総合型地域スポーツクラブ支援事業(1事業)を通じて上川管内のスポーツ振興を図りました。

2 上川管内スポーツ少年団連絡協議会の運営

上川管内の20市町で構成される連絡協議会の事務局として、大会開催事業(4事業)、大会開催助成事業(2事業)、講習会等開催事業(2事業)、派遣事業(11事業)、表彰推薦(2事業)を通じて、上川管内の青少年健全育成を図りました。

3 総合型地域スポーツクラブ上川ネットの運営

上川管内の5スポーツクラブ(旭川市4クラブ、当麻町1クラブ)で構成する上川ネットの事務局として、自主事業(Ka・Ra・Da Do !!)を通じて、相互の連携協調を図るとともに地域に根ざした生涯スポーツの振興を図りました。